

ライフスタイルと嗜好の変化が食の資格へのニーズを生む！

ここ数年、食への関心はどんどん増しています。しかも、ただ食べるだけでなく、自分自身や大切な人の健康や美容に役立てたり、学んだ知識をベースにして人に教える人たちが、全国に現れるようになりました。そこで、社団法人フードアナリスト協会の横井裕之事理長が、その背景と未来について語ります。

◎横井裕之

国際薬膳学院

食べるものを選ぶ時代、食の多様化が資格増加の背景に

食の資格は今、百花繚乱です。特にこの10年ぐらいで急増し、中には野菜ソムリエなどのように、受講者数が累計1万人を越えるほどのメジャーに育つ資格も増えてきています。資格には、国家資格と民間資格がありますが、最近の傾向では「独立できるか」「仕事はあるか」「キャリアアップできるか」「自分のニーズに合っているか」など、資格の実態に即して考えるようになってきました。そのため昔のように、「概に国家資格や公的資格だから良くて、民間資格だから劣る」という訳ではなくなりました。

食の資格が増えてきた背景としては、戦後71年を経て、日本が豊かになつたことがあります。食べられない時代から食べる物を選ぶ時代になり、食の多様化が進みました。世界中から食材やスパイス、料理法などが入ってくる時代となり、消費者の嗜好も多様性を増しました。メディアでは連日、料理やレストランを取り上げる番組が流れています。ラーメンやカレー、ハンバーガーなどのファーストフードは激しい競争の中で商品開発と低価格化に成功し、フランス料理やイタリア料理など外国料理の店も、一般大衆の手の届くようになり、消費者の味覚が成熟したといえます。

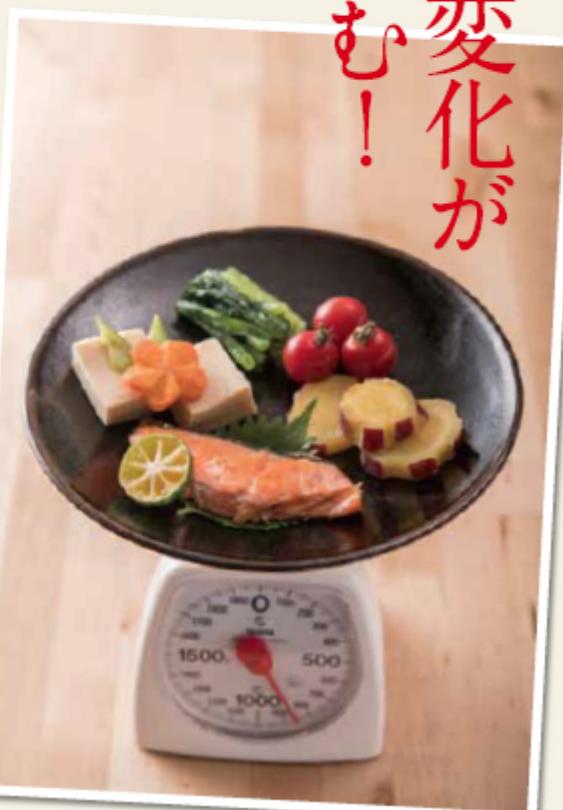
中国のマクドナルドの期間切れ鶏肉問題などにより、食の安全・安心への関心が高まつたのは記憶に新しいと思います。また、6つの「こしょく」と呼ばれる個食(好きなものだけ食べる)、孤食(一人きりで食べる)、固食(同じものばかり食べる)、小食(ダイエット)、粉食(ごはんを食べない)、濃食(味の濃い物を好んで食べる)など、現代人のライフスタイルと食の嗜好性の変化も、食の資格への関心に繋がっているのではないかでしょう。こうした食の情報に対して多様なニーズが、食の資格の「多様化」「専門化」「細分化」のトレンドとなつて現れています。

一昔前は、食の資格も多数誕生していました。飽食の時代となり、食の多様化、国際化、専門化が進んだことが食の資格の多様化に繋がっています。

それでは、資格を取得すれば何が変わ

るのでしょうか。私は、フードアナリストという「食の情報発信の専門化」の資格の運営に携わっていますので、フードアナリストを例に取ると、次のような声を資格取得者からいただいています。

- ①転職に有利になった。(独立も可能)
- ②取得後も無料の研究会やセミナー、イベントが多数あり学び続ける喜びがある。
- ③ミスチリーショッパーやプロガーベント、フードライターなどの仕事斡旋がある。
- ④知的好奇心が満たされ、生活が豊かになつた。
- ⑤同じ志(食を通じて世界を元気に)、同じ趣味(食べ歩き)、同じ嗜好(食文化に



総合的に学ぶ



一般向け

国際薬膳学院 食材効能検定

マクロビオティックA級プログラム

親子で食学

マクロビオティックS級プログラム

プロ向け

オリーブオイルティスター
マテ茶アドバイザー家庭薬膳アドバイザー
薬膳素材専門士
国際薬膳学院初級イタリア料理研究家2級
難穀エキスパート
日本茶インストラクター
国際薬膳学院中級イタリア料理研究家2級
難穀エキスパート
日本茶インストラクター
国際薬膳学院中級ナチュラルエイジングプログラム
食学調味料イタリア料理研究家1級
チーズプロフェッショナル
オーガニックコーディネーター
日本中国茶普及協会認定アドバイザー国際薬膳師
国際薬膳調理師
中医薬膳師

専門的に学ぶ

- 興味) 友達ができた。
- ⑥会社での仕事や実際の収入を得る以外にも、多くの食事療法や食に関する健康法の情報を得る事ができ、取り入れる事で家族や周りの人々が元気で健康になるお手伝いをする事が楽しく、資格を取つて良かったと思つた。
- どんな資格でも、資格取得した時がスタートです。同じ資格保持者の師匠、先輩でメンターになつてくれそうな方を探して交流することや、同期や後輩の仲間と情報交換することも、資格取得の楽しみの一つです。そのためには、協会のホームページやイベント、セミナー、メールマガなどをまめにチェックして、スキルアップを図ることも大切です。せつから取つた資格ですので、活かさなければもつたないです。また、数年以内に定期的な検定試験を停止してしまう資格も存在するので、資格を選ぶ時に注意してみてください。
- ぜひ、みなさんも食の資格を取得して、新しい世界への扉を開いて見ませんか？そのためにはまず、本書をじっくりと読んで自分に一番合った資格を探して見てください。

profile
横井裕之(よこいひろゆき)さん
社団法人日本フードアナリスト協会理事長。2005年11月設立・就任。食の情報発信の専門家＝フードアナリストは350以上の企業や100以上の大学・専門学校に導入。正会員数15,000人を超える日本有数の資格団体に。